

水稻の生育情報

生育は、平年よりやや遅く推移しています。茎数確保のため、浅水管理を行いましょう。

概況（5月30日 水稻定点ほ場調査結果から）

平均気温は4月下旬と5月中旬が平年より高く、その他は平年並み～やや低く推移しました。また、日照時間は4月下旬～5月中旬は平年並み～やや短く、5月下旬はかなり短く推移しました(図)。

生育は、ほ場によって差はあるものの、平年と比較して全体的に草丈は同程度～高く、茎数は少なく、葉色は同程度に推移しています(表)。

今後、気温の上昇に伴い生育が旺盛になりますので、中干し適期を見逃さないようにしましょう。

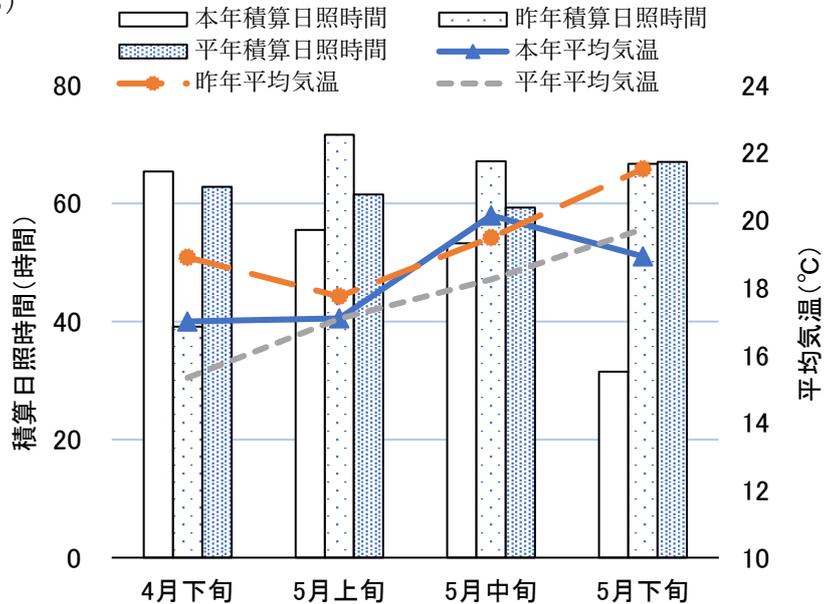


図 4月下旬から5月下旬の旬別平均気温と日照時間(古河アメダス)
 (注)平年値は1991～2020年の平均値

表 定点ほ場の生育調査結果(令和7年5月30日現在)

品種	調査地点	田植日 (月/日)	植付本数 (本/株)	栽植密度 (株/m ²)	草丈 (cm)	茎数		葉色 葉色板
						(本/株)	(本/m ²)	
コシヒカリ	坂東市	5/2	4.6	16.7	31.4 (30.9)	9.1	152 (205)	4.2 (4.3)
	境町	4/30	4.5	15.2	38.5 (30.7)	11.7	177 (202)	4.2 (4.4)
	五霞町	5/8	4.8	15.9	28.7 (27.0)	9.1	144 (160)	4.2 (4.3)
	古河市	5/14	4.5	15.9	31.9 (31.4)	8.0	127 (151)	4.4 (4.5)

※()内は過去5年間の平均値。

今後の栽培管理

平年よりも茎数が少ないため、浅水管理(2～3cm程度)により分けつを促進しましょう。また、茎数が330本/m²(必要茎数の80%)になったら、中干しを始めましょう。

●中干しの開始適期

330～350本/m²を確保した時期が開始適期です。

(右の1株あたりの茎数を参照)

●中干し期間

10～15日間、田面に軽くひびが入る程度行いましょう。

湿田は強めに、漏水田は軽めに実施しましょう。

中干しの開始適期の目安

- 坪50株植え(株間20cm) 20～21本/株
- 坪60株植え(株間18cm) 18～19本/株